

履修コード/科目名称	195801 / 健康・スポーツ実習	【グローバル・メディア・スタディーズ学部】	
開講年度	2014年	開講曜日・時限	金・4
主担当教員氏名・種目	岩本 哲也(イワモト テツヤ)	《サッカー》	
副担当教員氏名・種目	猪越 悠介(イノコシ ユウスケ)	《卓球》	
	下谷内 勝利(シモヤチ カツトシ)	《ゴルフ》	
	平田 大輔(ヒラタ ダイスケ)	《テニス》	
	山口 良博(ヤマグチ ヨシヒロ)	《室内球技》	

履修コード/科目名称	195801 / 健康・スポーツ実習 (サッカー)		
開講年度	2014年	開講曜日・時限	金・4
担当教員氏名(カナ)	岩本 哲也 (イワモト テツヤ)		

授業概要	本授業では、基本技術の習得とゲームを行い、サッカーの楽しさを実感する。		
到達目標(ねらい)	サッカーのゲームは、ボールを蹴ること(キック)、止めること(トラッピング)、運ぶこと(ドリブル)から成り立っている。週一回の授業で全てをマスターすることは難しいが、各々の技術の要領を知ることによって数段ボール扱いがうまくなり、ゲームも楽しいものになる。また、正しいルールを学び、ゲームに生かすことの理解度を高める。		
授業スケジュール	第1回	オリエンテーション、授業内容の説明	
	第2回	リフティング、インサイドキック、ゲーム	
	第3回	インサイドキック、トラッピング、ゲーム	
	第4回	浮き球のトラッピング、ゲーム	
	第5回	インステップキック(グラウンダー・浮き球)、ゲーム	
	第6回	インフロントキック、ゲーム	
	第7回	オフサイドルールの理解、ゲーム	
	第8回	基本技術の応用、ゲーム	
	第9回	基本技術の応用、ゲーム	
	第10回	基本技術の応用、ゲーム	
	第11回	ゲーム(リーグ戦)	
	第12回	ゲーム(リーグ戦)	
	第13回	ゲーム(リーグ戦)	
	第14回	ゲーム(リーグ戦)	
	第15回	まとめ	
準備学習	特になし		
履修上の留意点	服装：一般的な運動服とする。 シューズ：必ずアップシューズもしくは、固定式スパイクを用意すること(取替式スパイクは不可)		
成績評価の方法	70%	平常点	
	30%	総合評価	
	評価は、平常点70点、実技点30点とする。実技点はリーグ戦の結果と受講態度により採点する。個人の実技テストは行わない。		
教科書/テキスト			
参考書			
その他			
関連リンク			

履修コード / 科目名称	195801 / 健康・スポーツ実習 (卓球)		
開講年度	2014年	開講曜日・時限	金・4
担当教員氏名(カナ)	猪越 悠介 (イノコシ ユウスケ)		

授業概要	この授業は、卓球の基本技術を学習した後、シングルス、そしてダブルスの順にゲームを展開する。		
到達目標(ねらい)	上記の過程で卓球というスポーツへの理解を深めてもらい、生涯スポーツの基礎を築くことを到達目標とする。		
授業スケジュール	第1回	オリ エンテーション	
	第2回	ラケットティング、ネットの張り方の学習、フォアハンドの基本形、簡易ゲーム	
	第3回	フォアハンドドライブ、シングルスリーグ戦	
	第4回	フォアハンドドライブのショート、ロングの打ち方、シングルスリーグ戦	
	第5回	バックハンドショートの打ち方、シングルスリーグ戦	
	第6回	カットの打ち方、返球の方法。カット&カット、シングルスリーグ戦	
	第7回	カット&ドライブリターン、シングルスリーグ戦	
	第8回	スマッシュ(3球目)、シングルスリーグ戦	
	第9回	ダブルスゲームの行い方、ダブルスゲームの練習、ダブルスリーグ戦	
	第10回	ダブルスリーグ戦	
	第11回	ダブルスリーグ戦	
	第12回	ダブルスリーグ戦	
	第13回	ダブルスリーグ戦	
	第14回	ダブルスリーグ戦	
	第15回	まとめ	
準備学習	卓球のルールを必ず予習しておいてほしい。		
履修上の留意点	服装は、一般的なスポーツウエアとするが、必ず体育館シューズを用意すること(土足厳禁)。		
成績評価の方法	80%	平常点	
	20%	総合評価	
	授業態度・積極性・授業への協力度を総合的に考慮して評価する。平常点80%総合評価20%。		
教科書/テキスト			
参考書			
その他			
関連リンク			

履修コード / 科目名称	195801 / 健康・スポーツ実習 (ゴルフ)		
開講年度	2014年	開講曜日・時限	金・4
担当教員氏名(カナ)	下谷内 勝利 (シモヤチ カツトシ)		

授業概要	より豊かな余暇活動として最良の生涯スポーツであるゴルフを教材とし、その理論と実践を学習する。		
到達目標(ねらい)	楽しく、安全にラウンドプレーをする為の基礎知識、技術、およびマナーを身につける。		
授業スケジュール	第1回	オリエンテーション	
	第2回	ゴルフスイングの基礎(グリップ、アドレス、スイング)	
	第3回	打撃練習(ピッチングウェッジ・9アイアン)	
	第4回	打撃練習(ピッチングウェッジ・9アイアン)	
	第5回	打撃練習(ピッチングウェッジ・9アイアン)	
	第6回	打撃練習(9アイアン・7アイアン・1ウッド)	
	第7回	打撃練習(9アイアン・7アイアン・1ウッド)	
	第8回	打撃練習(9アイアン・7アイアン・1ウッド)	
	第9回	打撃練習(アプローチショット)	
	第10回	打撃練習(アプローチショット)	
	第11回	パッティング(ゴルフコースおよびゴルフクラブの解説)	
	第12回	パッティング(ゴルフコースおよびゴルフクラブの解説)	
	第13回	ラウンドプレー(模擬コース)(マナー、エチケットの解説)	
	第14回	ラウンドプレー(模擬コース)(マナー、エチケットの解説)	
	第15回	理解度の確認	
準備学習	特になし		
履修上の留意点	<ol style="list-style-type: none"> 1. 服装は、一般的な運動服装とする。 2. シューズは、運動靴とする。 3. ゴルフ用グローブを各自用意すること。 		
成績評価の方法	70%	平常点	
	30%	実技点	
	平常点(積極性・協調性・受講態度等)70%、実技点30%とする。授業に出席して実技を実践することが重要である。遅刻、欠席は減点の対象とする。		
教科書/テキスト			
参考書			
その他	雨天および強風時は、教場を変更する場合がありますので掲示板を確認すること。		
関連リンク			

履修コード / 科目名称	195801 / 健康・スポーツ実習 (テニス)		
開講年度	2014年	開講曜日・時限	金・4
担当教員氏名(カナ)	平田 大輔 (ヒラタ ダイスケ)		

授業概要	生涯スポーツとして多くの人がプレーを楽しんでいるテニスを通して体力の維持・増進を目指す。そのためテニスの基本技術を習得し、面白さやコミュニケーションを経験し、生涯スポーツとして楽しめるような技術を身につけられるようにする。		
到達目標(ねらい)	テニスのグランドストローク、ボレー、サーブといった技術だけに留まらず、マナー、ルールを学び、コミュニケーション力を身につけられるようにする。また、今後の学生生活が有意義になるような仲間が作りが出来ることを目指す。経験者は、いままでの技術をさらに向上させ、試合に生かせるようになってもらう。さらに未経験者に対してアドバイスができるようにもなってほしい。		
授業スケジュール	第1回	オリエンテーション、授業目標の説明	
	第2回	ラケットワーク、ラケット・ボールに慣れる	
	第3回	ストロークの基本技術Ⅰ	
	第4回	ストロークの基本技術Ⅱ	
	第5回	ボレーの基本技術	
	第6回	スマッシュ、サーブの基本技術	
	第7回	応用技術Ⅰ(試合で使える技術をマスター)	
	第8回	応用技術Ⅱ	
	第9回	シングルスゲーム	
	第10回	ダブルスのルール戦術	
	第11回	ダブルスゲームⅠ	
	第12回	ダブルスゲームⅡ	
	第13回	団体戦Ⅰ(シングルス、ダブルス)	
	第14回	団体戦Ⅱ(シングルス、ダブルス)	
	第15回	理解度の確認	
準備学習	体育実技なので、体調をしっかりと整えて、授業を受講出来るようにすること。		
履修上の留意点	① 履修者の技術レベルは問わない ② 服装は運動着とする。できればテニスシューズを準備すること。 ③ ラケットは貸与する。		
成績評価の方法	80%	平常点	
	20%	出席	
	平常点(授業参加態度、運動参加状況)技術習熟度などから総合的に評価する。		
教科書/テキスト			
参考書			
その他	雨天の場合は、テニスに関する知識を深めるため、映像などを使用して講義を行う。もしくは、テニスに必要なトレーニングを体育館などで行う予定である。		
関連リンク			

履修コード / 科目名称	195801 / 健康・スポーツ実習 (室内球技)		
開講年度	2014年	開講曜日・時限	金・4
担当教員氏名(カナ)	山口 良博 (ヤマグチ ヨシヒロ)		

授業概要	バスケットボール、バレーボール、バドミントンを主な種目とし、それぞれの競技を楽しむための基礎技術やルールについて学ぶ。		
到達目標(ねらい)	各種目での技術上達はもとより、ゲーム等とおして協調性やリーダーシップ等を養う機会とし、豊かな人間関係作りとともに生涯スポーツについても理解を深めることを目的とする。		
授業スケジュール	第1回	オリエンテーション、授業内容の説明	
	第2回	バドミントン(基礎練習、ゲーム)	
	第3回	バドミントン(基礎練習、ゲーム)	
	第4回	バドミントン(基礎練習、ゲーム)	
	第5回	バドミントン(基礎練習、ゲーム)	
	第6回	バレーボール(基礎練習、ゲーム)	
	第7回	バレーボール(基礎練習、ゲーム)	
	第8回	バレーボール(基礎練習、ゲーム)	
	第9回	バレーボール(基礎練習、ゲーム)	
	第10回	バスケットボール(基礎練習、ゲーム)	
	第11回	バスケットボール(基礎練習、ゲーム)	
	第12回	バスケットボール(基礎練習、ゲーム)	
	第13回	バスケットボール(基礎練習、ゲーム)	
	第14回	受講者と相談のうえ種目を決定(基礎練習、ゲーム)	
	第15回	受講者と相談のうえ種目を決定(基礎練習、ゲーム)	
準備学習	特になし		
履修上の留意点	スポーツウェア(上下)、体育館シューズの着用を厳守すること。		
成績評価の方法	80%	平常点	
	20%	総合評価(積極性・協調性・授業態度など)	
	授業に出席して、積極的に取り組むことが重要である。		
教科書/テキスト			
参考書			
その他			
関連リンク			